

新たな視点で まちづくり推進

首都圏不燃建築公社
業務説明会・講演会

首都圏不燃建築公社（藤原健朗理事長）は、東京都港区の明治記念館で10月30日に業務説明会と講演会を開いた。席上、藤原理事長は「働き方改革や人手不足の問題、不動産価格や工事費の高騰など厳しい状況が



続いている」と最近の事業環境を説明。逆境をチャンスと捉え「DXや新規分野など、新たな視点で『災害に強い安全・安心で快適な

まちづくり』の実現に全身全霊で取り組み」と力を込めた＝写真。

講演会では武蔵野学院大学・大学院教授の澤口俊之氏が「ビジネススマンが真に伸ばすべき脳力とは何か」をテーマに講演した。講演会の後には懇親会も開かれた。首都圏不燃建築公社は2026年1月に設立65年を迎える。

